

## 2018年度第1回特定非営利活動法人サロン2002理事会議事録

【日時】2018年4月13日（金）18:30～21:30

【会場】KIZUNA 会議室八重洲 SECOND（東京都中央区八重洲 1-6-14 ISO 八重洲 201）

【出席】理事：中塚義実、安藤裕一、嶋崎雅規、竹中茂雄、松下徹、本多克己（ネット参加）  
事務局：岸卓巨

【欠席】理事：関谷綾子、笹原勉、  
監事：茅野英一

【議事録作成者】岸卓巨

### 【議題】

1. 2017年度を振り返って（事業報告・決算）
2. 2018年度へ向けて

### 1. 2017年度を振り返って（事業報告・決算）

【会員（正会員、賛助会員）、メンバーの確定】

- 事務局より2017年度NPO法人サロン2002会員・スポネットサロンメンバーに関する会費納入状況等が説明され、2017年度会員・メンバーについては次の通りの人数で合意された。
  - ・ NPO法人サロン2002会員数 32名
  - ・ スポネットサロン2002メンバー数 70名
- 上記人数には、2016年度会費を納入済みで、2017年度会費が未納な会員・メンバーも含む。
- 2016年度、2017年度の2年連続会費が未納な会員・メンバーについては、理事長・事務局より改めて会費納入催促を行い、2018年6月実施予定の総会までに納入されない場合は、NPO法人サロン2002の定款に従って退会扱いとする。
- 株式会社シックスの賛助団体会費（3万円）が未納であることが確認された。

【年次報告書（月例会報告等含む）】

- 嶋崎理事がフォーマットを共有した上で、各担当が5月11日（金）までに各原稿を作成し提出する。嶋崎理事が原稿を取りまとめ、2018年6月実施予定の総会までに完成させることが確認された。
- 月例会活動報告については、基本的に広報誌掲載の原稿から嶋崎理事が写真・スライドを外し作成する。ただし、下記の月例会報告については個別に対応する。
  - 2017年10月月例会：竹中理事が月例会報告書（完成版）を作成する。
  - 2017年11月月例会：岸事務局長が写真を挿入し、月例会報告書（完成版）を作成する。
  - 2018年1月月例会：中塚理事長が月例会報告書（完成版）を作成する。
  - 2018年2月月例会：中塚理事長が完成済みの報告書を展開する。嶋崎理事が月例会報告書（年次報告書版）を作成する。
  - 2018年3月月例会：安藤理事が福士氏確認中の月例会報告書（完成版）と月例会報告書（年次報告書版）を作成する。

- 「公開シンポジウム」についての報告は笹原理事に依頼する。（A4 1枚程度）
- 【調査研究事業】の一環で toto 助成を受けて「広報誌」を作成したことに関する報告を岸事務局長が作成する。
- 2017年度は「国際交流事業運営受託」「Gavic Cup ユースフットサル選抜トーナメント」「ノンボーダーフットボール」は実施していないことが確認された。
- 「U-18 リーグチャンピオンズカップ」についての報告は、広報誌の P95～P97 をベースに本多理事が作成する。
- 「Sport for Tomorrow 事業への参加」は、SFT 認定事業として実施した 2018 年 1 月の月例会にも触れた内容で岸事務局長が作成する。
- 「事務局報告」は岸事務局長が作成する。
- 「この一年を振り返って」は笹原理事に作成を依頼する。

#### 【広報誌『游 ASOBI』】

- 甲文堂からの請求書をもとに広報誌『游 ASOBI』作成にかかった費用が確認された。
- 本多理事より日本スポーツ振興センターより広報誌作成に係る toto 助成について不備の連絡があったことが報告された。本多理事が資料をまとめ 4 月 18 日までに提出する。toto 助成採択結果を待って、2018 年度決算が確定する。
- 送付先について、現状は会員・メンバーと国会図書館のみであるが、今後「体育系大学図書館（送付先等は嶋崎理事が確認）」や「クーベルタンユースフォーラム参加校・関係者（中塚理事長が送付リストを作成）」「U-18 フットサル出場チーム・関係者（本多理事が送付リストを作成）」「会員以外の月例会演者（小林氏に岸事務局長が手渡しする）」などサロンの主催行事関係者にも送付することが合意された。追加送付も甲文堂に依頼することが合意された。
- 広報誌の残部は、筑波大学附属高校体育教官室に保管し、今後中塚理事長から関係者に提供していくことが合意された。
- 作成に係る成果としては、川名氏の協力もあり充実した内容・デザインの報告書が出来上がったことが中塚理事長より挙げられた。課題としては、中塚理事長より仕事の遅さが挙げられ、岸事務局長よりサロン 2002 の実働スタッフの少なさが問題提起された。

#### 【U-18 フットサル関連事業（toto 報告等）】

- 本多理事より審判等への謝金を愛知県サッカー協会理事長を通して支払ったことが日本スポーツ振興センターより指摘されたが、資料を揃えて提出することで解決されたことが報告された。来年からはサロン 2002 の toto 口座より大会当日に直接支払い、その領収書をその場でもらう方向で準備することが合意された。また、本多理事より大会当日にサロン 2002 の会計担当者 1 名が大会会場にいたことが提案された。松下理事より大会に出向く担当者の人選が重要であるとの発言があった。また、嶋崎理事より個別支払金額と領収書の封入など事前準備をすることでスムーズに対応できるとの発言があった。
- 来年は 2019 年 1 月 5 日～6 日でオーシャンアリーナにて開催する方向であることが本多理事より報告された。

### 【決算案】

- 5月中旬～下旬に監査を実施することが確認された。また、昨年同様、監査当日に理事会を行う方向で調整することが合意された。
- 5月末に法人税を申告するにあたり、松下理事が電子申告を行うことが合意された。
- 松下理事より2018年度より源泉徴収の支払い、法定調書発行をスムーズに行うために領収書のテンプレートを整備することが提案され、合意された。また、月例会演者についても、月例会当日に現金で謝金を支払い、その場で領収書を取得する方向で合意された。
- 前回理事会で事務局より提案された会員・メンバーへの印字済み振込用紙の送付については、現在のサロン2002の口座では実施できず、振替口座を別途開設する必要があることが報告された。振替口座の開設については2018年度中に検討し、実施する場合は2019年度より利用することが確認された。

## 2. 2018年度へ向けて

### 【役員を選任・退任】

- 2018年度が理事会の改選期に当たるため、6月実施予定の総会までに役員候補者を選任することが確認された。
- 本多理事の副理事長就任（笹原副理事長は留任）が合意された。
- 安藤理事、関谷理事より本業に専念するために理事退任の意向が出された。中塚理事長より法曹関係者として関秀忠氏に理事就任を打診中であることが報告された。他の理事・監事は継続することが合意された。
- 茅野監事より監事の増員が提案され、合意された。
- 岸事務局長よりDUOリーグの運営を含む事務局業務を担うメンバーを増員することが提案され、合意された。
- 理事候補者、事務局員候補者が複数名挙げられ、今後検討・調整していくことが確認された。

### 【会員（正会員・賛助会員）、メンバーの募集】

- 会員・メンバー募集、名簿作成業務を2017年度で理事を退任する安藤理事より竹中理事に引き継ぐことが合意された。
- できるだけ早く、安藤理事および竹中理事より会員・メンバー募集の呼びかけをすることが確認された。

### 【事業計画・予算】

#### 1) 2018年度総会、予算

- 2018年度総会は6月10日（日）16:30に実施することが中塚理事長より提案された。この日は、筑波大学附属高校の体育館で「全日本ユース（U-18）フットサル大会東京都大会」の決勝が14:30よりあり、観戦後に総会を開催することが可能である。
- 2018年度予算（案）は、笹原氏にたたき台作成を依頼することが合意された。

#### 2) 月例会・出張サロン等

- 4 月月例会は、4 月 26 日に中塚理事長が「高校サッカー100 年」に関する話題提供を行う。
- 5 月月例会のテーマ・演者が未定のため、嶋崎理事より会員・スポネットメンバーに募集する。
- FIFA ワールドカップ・ロシア大会も月例会テーマとして取り上げることが合意された。徳田氏より 7 月末であれば観戦ツアーに関して話題提供できるとの情報あり。
- 嶋崎理事よりラグビーワールドカップ関係で釜石の動きが面白いので取り上げたいとの提案があった。また、これは出張サロンでもよいかもしいとの発言があった。
- 竹中理事より品川地区でブラインドサッカーワールドグランプリを開催し、とても盛り上がったため、「ブラインドサッカー」も月例会テーマとして取り上げることが提案された。

### 3) 公開シンポジウム

- 今年度は「高校サッカー100 年」をトピックとして企画することが合意された。すでに「高校サッカー90 年」を公開シンポジウムで取り上げているので、高校ラグビーや U-18 フットサル、高校女子サッカーの動向も含めながら「部活動問題」をからめて計画することが確認された。
- 日程としては、8 月最終週は体育学会のため、9 月中に開催する方向で調整する。2018 年度も年度内に広報誌を作成するため、9 月までには実施することが確認された。
- 2019 年は 7 月に「ラグビーワールドカップ」関係で、2020 年は「東京オリパラ」、2021 年は「関西ワールドマスターズ」をトピックとして企画することが提案された。

### 4) フットサル関係

- 本多理事より「U-18 リーグチャンピオンズカップ 2018」は 2019 年 1 月 5 日～6 日オーシャンアリーナで実施する方向で計画中であることが報告された。
- 「Gavic Cup ユースフットサル選抜トーナメント」の廃止が中塚理事長より報告された。

### 5) オリンピック教育・国際交流関係（含む SFT 事業）

- 2019 年夏にフランスにて「第 12 回国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム」が開催されるため、参加者を選抜するための国内ユースフォーラム（YF）を 2018 年度中に実施する。中塚理事長より、国内 YF は CORE（筑波大学オリンピック教育プラットフォーム）や NPO サロンの共催で 12 月ごろ開催する方向で調整することが報告された。また、国際ピエール・ド・クーベルタン委員会（CIPC）の日本組織である「CJPC（日本ピエール・ド・クーベルタン委員会）」が本来は担うべき事業であり、いまその組織化が進められていること、さらに高体連とオリンピック教育の関係について、研究部活性化委員会の動向が紹介された。
- 岸事務局長より SFT 認定事業として「クーバーコーチング・ジャパン」がワールドカップと関連付けて子どもたちを主な対象にサッカーを通じた国際交流イベントを計画していることが紹介された。今後、イベントの概要が具体化してきた段階でサロン 2002 としての参画を検討することが確認された。

### 6) DUO リーグ事務局受託

- 岸事務局長より、株式会社シックスより提案があったホームページの改訂が DUO リーグ会議で承認されたことが報告された。また、今後事務局メンバーを増員し、業務を引き継ぐことが提案され、合意された。
- 7) スキンプロジェクト
- 2017年度は豊島区のイベントで実施した。岸事務局長より 2018年度はワークショップの進め方を見直しながら、実施機会を考えたいとの発言があった。
- 8) 広報誌「游 ASOBI」第2号
- 第1号は事業計画に基づき川名氏（株式会社 PG）へ支払ったデザイン料が3万円であったが、次回はより適切な金額を支払えるように計画することが合意された。
- 9) ノンボーダーフットボール
- 2017年度は実施できなかったが、2018年度は実施することが確認された。

以上